



こちら119

発行 **2012.8**
久留米広域消防本部
三井消防署
72-5101(代)

台風対策は大丈夫!?

この時期になると台風が発生しやすくなり、その影響で強風や大雨、河川の氾濫など多数の人的被害や住家被害を受けます。しかし、これらの被害は事前に備えておくことで最小限に抑えることができます。みなさんも早目の準備を行い、台風に備えましょう。

事前に備えよう

- ・懐中電灯や携帯ラジオなどを用意する。
- ・学校や公民館など、指定されている避難場所への経路を確認する。
- ・家族との連絡手段を決めておく。
- ・飲料水や食料などの非常食品を準備して、非常用品と併せて持出し袋に入れておく。

台風が接近してきたら

- ・テレビやラジオなどの台風情報に注意しましょう。
- ・再度、自宅周辺の安全を確認しましょう。
- ・不用不急の外出は控え、やむを得ず外出する時はヘルメットなどを着用しましょう。
- ・危険な場所には近づかない。

風の対策

- ・屋外にある物で、風に飛ばされる危険性がある物は固定するか、取り込んでおく。
- ・アンテナや物干し台にぐらつきがないか確認しましょう。
- ・戸戸を閉めたか確認しましょう。



雨の対策

- ・家の周囲の側溝や排水溝が詰まってないか確認しましょう。
- ・屋根や雨どいを確認しましょう。

危険を感じたら

- ・火の始末の確認を行い、持ち出し袋を持参し、自主的に避難する。(頭はヘルメットなどで保護し、両手は自由に使えるようにしておく)



非常用品は…?

- ・救急用品
- ・衣類
- ・予備の電池
- ・軍手
- ・貴重品



住宅用火災警報器の維持管理は大丈夫ですか?

●問合せ先 久留米広域消防本部三井消防署警防課 72-5101 ファクス72-5948

◆「いざ」というためのために、点検をしておきましょう!

せっかく取り付けた住宅用火災警報器も、いざという時に正常に機能しなければ意味がありません。日ごろの維持管理が大切です。

住宅用火災警報器を設置した後は、月に1回程度作動テストを行ってください。住宅用火災警報器の押しボタンを押すか、下がっているひもを引いたとき、音または音声で鳴れば異常はありません。

また、住宅用火災警報器にホコリなどが付くと感知しづらくなります。1年に1回程度よく絞った布で汚れを拭き取ってください。

◆住宅用火災警報器の交換時期を確認しましょう!

1. 本体の交換時期

(1) 交換期限が表示されているもの

住宅用火災警報器の本体に表示されている交換期限に合わせて交換してください。



(2) 交換期限が表示されていないもの(自動試験機能付の場合)

交換期限が来たときに住宅用火災警報器が音や音声により自動で知らせますので、音や音声で鳴ったら交換してください。



2. 電池の交換時期

(1) 電池の寿命

電池の寿命は概ね5年から10年が目安となります。電池寿命が近づくと、音声やランプ表示などで電池交換時期を知らせてくれますので、新しい電池と交換してください。
※新しい電池へ交換する際は、販売店などへ電池の種類をご確認ください。

(2) 電池が交換できないもの

電池が交換できるタイプと、できないタイプがあります。電池交換ができないタイプは、住宅用火災警報器を本体ごと交換する必要があります。